

平成24年11月16日
三井生命保険株式会社

「桜ライン311」への寄付について ～東日本大震災を風化させないプロジェクトに協賛～

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 山本幸央）は、このたび、当社のCSR活動の一環として、特定非営利活動法人「桜ライン311（代表 橋詰琢見氏）」に対し、今年4月から6月にかけて実施の当社キャンペーン活動による寄付金をお届けするとともに、岩手県陸前高田市において桜の苗木を植樹してまいりました。

当社では、様々なCSR活動を展開しておりますが、今後も社会の一員として、一人ひとりができることを考えながら、社会に貢献してまいります。

記



（全国各地から集まったボランティアの方々とともに桜の苗木を植樹しました）

1. 桜ライン311とは

「桜ライン311」とは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による津波の被害を風化させないために、陸前高田市の青年団体が中心となって立ち上げたプロジェクトです。陸前高田市内の約170kmにわたる津波の到達ラインに10mおきに桜の木を植樹し、もし、津波の恐れがあるときには、その桜並木よりも高い場所に避難するよう後世に受け継ぎ、伝えていくことを活動の目的としています。

※ 詳細は「桜ライン311」ホームページをご覧ください。 <http://www.sakura-line311.org/>

2. 当社の取り組みについて

当社は、CSR活動の一環として、“こわさないでください。自然。愛。いのち。”というキャンペーンテーマのもと昭和49年に開始した「苗木プレゼント」を中心とする環境保護活動、「エコキャップ回収活動」をはじめとした社会貢献活動を展開しておりますが、東日本大震災への対応といたしましては、「保険金等の簡易迅速なお支払い」「義援金の寄付」のほか、開墾作業、植栽活動など様々なボランティア活動を継続的に実施してまいりました。

>> 次頁へ続く

昨年１２月の休日を利用して、当社社長をはじめとする役職員がボランティア活動のために陸前高田市を訪れ、ボランティアセンターにおいて「桜ライン３１１」に関わるレクチャーを受けた際にその活動に共感し、今般の取り組みに至ったものです。

具体的には、今年４月から６月にかけて、当社とお客さまとの関係強化を目的とするキャンペーンを展開した際に、このキャンペーンにご応募いただいたお客さま一人につき２円を当社が「桜ライン３１１」に寄付するという趣旨でご案内いたしましたところ、**１５３，１１１名の方からご応募**があり、**寄付金は合計で３０６，２２２円**となりました。

そこで、１１月１０日（土）に、陸前高田市にある特定非営利活動法人「桜ライン３１１」を訪問し、寄付金の目録をお届けするとともに、現地において桜の苗木植樹のボランティア活動に参加しております。



※ 本件は当社全体としての取り組みですが、当社渋谷支社においても、個別に寄付・ボランティア活動を実施しております。

以上